



と しょ かん かい けつ 図書館で解決! ? 第17号

図書館で調べ物をしてみませんか?

堺市立図書館
平成 21(2009)年4月8日

「裁判員制度」について知りたい

堺市立図書館を
ご利用の
みなさまへ

平成21年5月21日に「裁判員制度」がスタートしました。20歳以上の日本国民であれば、誰でも裁判員に選ばれる可能性があります。

最高裁判所調べによると、裁判員に選ばれるのは大阪地方裁判所の管轄では211人に1人。また、大阪堺支部の管轄では415人に1人となっています。(2008年11月26日朝日新聞朝刊)

みなさん、裁判員になったときの心構えはもうできていますか? 「うーん、まだちょっと…」の方は、図書館の資料を予習にお使いください。

図書館では、手にとりやすい入門書やビデオやDVDなど視聴覚資料もご用意しています。

わからないことがあれば、職員に遠慮なくお尋ねください。

裁判員制度は、裁判員法(正式名称:裁判員の参加する刑事裁判に関する法律)で国民の中から選ばれた裁判員が裁判官と共に重要な刑事裁判を行うものと定められています。国民が裁判に参加し、誰もが納得できる裁判にしようというのが制度導入の目的とされています。堺市に住んでいる人は、基本的に堺東の大阪地方裁判所・堺支部に行くことになります。

キーワードをあげてみましょう

調べるときは、はじめにいくつかの手がかり(キーワード)を決めましょう。館内の検索機(OPAC)で検索するとき、主題別に並んでいる書架を探するとき、関連のホームページを探すときなどに役立ちます。

- ① 主なキーワード
裁判員制度 裁判員 裁判員法 刑事訴訟法
- ② 関連キーワード
司法制度改革 裁判所 法務省

裁判員制度全般について調べましょう

裁判員制度の本は、分類“327.67(陪審・陪審員制度)”の棚に収めています。見つからない場合は、職員にお尋ねください。

『裁判員制度ブックレット』最高裁判所/著 最高裁判所 2005

「裁判員制度とは?」「裁判ってむずかしそうですが」などの質問に、最高裁判所事務総局刑事局長が答えます。

『これ一冊で裁判員制度がわかる』

読売新聞社会部裁判員制度取材班/著 中央公論社 2008

“裁判員制度を理解するための100問100答”と、“もっと深く理解するために”の2章で構成されています。

『これでわかる!裁判員制度』平野 哲郎/監修 実業之日本社 2008

Q&A形式で、ときおりマンガも入れながらの解説があります。

『知る、考える裁判員制度』竹田 昌弘/著 岩波書店 2008

裁判員制度の仕組みとともに、導入のわけ、問題点・課題点、どのような影響をもたらすのかをまとめています。事件報道の問題点についても解説があります。

『よくわかる裁判員制度と刑事訴訟のしくみ』藤田 裕/監修 三修社 2008

裁判員制度だけでなく、取り扱う刑事裁判の説明もあります。

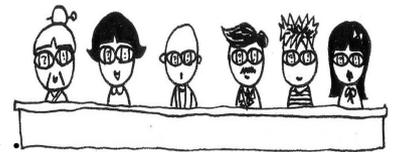
裁判員法も調べてみましょう

裁判員法は、平成11年に司法制度改革審議会が設置され、約5年かけて成立しました。裁判員関連の資料の巻末に載っていることもありますが、載っていない場合は、次の資料や六法全書をご利用ください。

『有斐閣判例六法』平成21年版 青山 善充/編集代表 有斐閣 2008

裁判員法の成立で改正された他の法令(地方自治法、刑事確定訴訟記録法、組織的犯罪処罰法など)や、裁判員の辞退事由を認める政令なども載っています。

裏もご覧下さい。



堺市立図書館一覧

中央図書館

堺区大仙中町 18-1
〒590-0801 TEL244-3811

堺市駅前分館

堺区田出井町 1-1-300
〒590-0014 TEL222-0140

中図書館

中区深井清水町 1426
〒599-8273 TEL270-8140

東百舌鳥分館

中区土塔町 2363-23
〒599-8234 TEL234-9600

東図書館

東区北野田 1077
〒599-8123 TEL235-1345

初芝分館

東区野尻町 221-4
〒599-8116 TEL286-0071

西図書館

西区鳳南町 4 丁 444-1
〒593-8325 TEL271-2032

南図書館

南区茶山台 1 丁 7-1
〒590-0115 TEL294-0123

榎分館

南区桃山台 2 丁 1-2
〒590-0141 TEL296-0025

美木多分館

南区鴨谷台 2 丁 4-1
〒590-0138 TEL296-2111

北図書館

北区新金岡町 5 丁 1-4
〒591-8021 TEL258-6850

美原図書館

美原区黒山 167-14
〒587-0002 TEL369-1166

人権ふれあいセンター図書ホール

堺区協和町 2 丁 61
〒590-0822 TEL245-2534

青少年センター図書室

堺区柳之町西 1 丁 3-19
〒590-0930 TEL228-6331

編集・発行

平成21年4月8日
堺市立中央図書館
〒590-0801
堺区堺区大仙中町 18-1
Tel:072-244-3811
Fax:072-244-3321

“法令データ提供システム／総務省行政管理局”

(<http://law.e-gov.go.jp/cgi-bin/idxsearch.cgi>)

用語“裁判員”で検索すると見ることができます。

“裁判員制度”(<http://www.saibanin.courts.go.jp/shiryo/index.html>)

最高裁判所のホームページ内“裁判員制度”の資料集のページには、裁判員法のほか“裁判員の辞退事由を認める政令”もっています。

裁判員制度の抱える課題とは

裁判員制度については、えん罪や量刑、裁判員になった人の負担などさまざまな懸念があがっています。いろいろな人の意見に注目してみましょう。

『えん罪を生む裁判員制度』石松 竹雄／編著 現代人文社 2007

えん罪の生まれる背景を分析し、裁判員制度の公判前整理手続きで無罪の発見ができるかを問題提起しています。

『激論！「裁判員」問題』木村 晋介／監修 朝日新聞出版 2008

第一部では賛成派の刑事弁護界の重鎮と反対派の元裁判官それぞれの主張が紹介され、第二部は二人の討論で構成されています。

『裁判員制度はいらない』高山 俊吉／著 講談社 2006

裁判員制度に反対する一般市民やさまざまな分野の専門家の意見を紹介し、裁判員制度の問題点をあげています。今、どうして裁判員法が必要なのかも言及しています。

子どもたちに裁判員制度ってなあに？と聞かれたら

平成20年3月告示の新学習指導要領で、法教育の視点を導入することが示されています。子どもさんが裁判や裁判員制度に興味を示されたときには、次の資料をご利用ください。

『イラストで学べる裁判員制度』全3巻 裁判員制度研究会／編 汐文社 2007

“裁判員制度ってなあに？”、“あなたが裁判員になったら”、“もっと知ろう裁判と裁判所”の全3巻で構成されています。対象は小学校高学年からですが、大人にも十分通用する情報がつまっています。

『わたしたちと裁判』新版 後藤 昭／著 岩波書店 2006

小学生・中学生が起こした裁判（髪型の自由を訴えた事件など）を事例に、裁判のはたらきや裁判員制度を身近な問題として紹介しています。

ビデオ・DVD もあります

裁判所や法務省によって作成されました。ストーリーのあるドラマ仕立てになっていますので、「本はちょっと苦手…」の方におススメです。

『裁判員 選ばれ、そして見えてきたもの』最高裁判所 ビデオ・DVD

『裁判員制度 もしもあなたが選ばれたら』法務省 DVD

『評議 裁判員制度広報用映画』最高裁判所 ビデオ



Web サイトの情報も使いましょう

◆法務省「裁判員制度」(<http://www.moj.go.jp/>)

“裁判員制度コーナー”では、裁判員制度全般以外に、関連する資料集として法令、政府の関連会議資料などの情報が得られます。

◆最高裁判所「裁判員制度」(<http://www.saibanin.courts.go.jp/index.html>)

“見てなっとく！選任手続き”では、アニメを使ったクイズ形式で、裁判所からの通知を受け取った人に役に立つ情報が得られます。

◆日本弁護士連合会「裁判員制度」(<http://www.nichibenren.or.jp/>)

“体験しよう、裁判員制度”のページでは、クイズ形式で楽しく学ぶことができます。

◆法テラス「日本司法支援センター」(<http://www.houterasu.or.jp/>)

サービス一覧の“ホットトピック”のページで、裁判員制度に関する質問が掲載されています。

(ご紹介した情報は、平成21年4月8日現在のものです)